

2024年度 神戸市政策会議 概要

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 2024年12月25日（水）11時40分～12時00分 |
| 出席者 | 市長、副市長、市長室長、危機管理監、危機管理室長、危機管理室課長（総務担当）、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、地域協働局長、行財政局長、行財政局副局長、福祉局副局長、健康局副局長、環境局業務課長、経済観光局経済政策課長、消防局予防部長 |
| 議題 | 神戸市防災の今後の取組み～想定外を想定内に～ |
| 提案概要 | <p>○「令和6年 能登半島地震」で顕在化した初動・応急期の課題に加え、阪神・淡路大震災後の経時的な社会情勢の変動やテクノロジーの進展等も踏まえ、特に初動・応急期にかかる本市の災害対策について、全庁的に「総点検」を実施している。</p> <p>○この総点検の取組みを、本市災害対策の実効性確保と災害レジリエンスの強化に確実につなげていくため、今後取り組むべき災害対策として、以下の5つの柱・15項目の提案を行い、議論した。</p> <p><市の初動・応急体制の強化></p> <ol style="list-style-type: none">① 職員参集・動員にかかる諸制度の見直し② 市職員退職者、外部人材等の効果的な活用③ 区の防災体制の強化 <p><安心・健康に過ごせる避難所づくり></p> <ol style="list-style-type: none">④ 地域防災の取組みへの効果的な支援⑤ 避難所の迅速な開設と円滑な運営⑥ 避難所の良好な居住環境等の確保⑦ 避難者情報の効率的な把握と適切な対応 <p><被災者支援・要援護者対策の推進></p> <ol style="list-style-type: none">⑧ 災害ケースマネジメントの仕組みの構築⑨ 市保健医療福祉調整本部による迅速かつ効果的な支援⑩ 災害時要援護者の整理と支援の一層の推進⑪ 福祉避難所の機能強化 |

| | |
|-----------------------------------|--|
| | <p><備蓄物資の確保と適切な維持管理> ⑫ 神戸市備蓄計画の策定と備蓄物資の適切な維持管理</p> <p><新たなテクノロジーの活用と災害用リソースの確保> ⑬ 防災行政無線の高度化、防災・減災の先進事例等の調査・導入検討 ⑭ ドローン等の効果的な活用 ⑮ 新たな資機材の導入</p> |
| <p>会議結果 (主な意見 等を含む)</p> | <p>全体の方向性については了。</p> <p>○本市災害対策の実効性確保と災害レジリエンスの強化のため、必要な取り組みについて議論を行った。</p> <p>○今後の実施、検討にあたっては、以下の点に留意すること</p> <p><地域防災の取組みへの効果的な支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会がないエリアへの支援が重要である。 ・地域人材の掘り起こしとして地元企業や事業所をはじめ、現役世代の参画、さらにNPOやボランティア活用の仕組みも考えていく必要がある。 ・支援策の検討にあたっては、現場のことが分かる研究者や地域で活動されている方、民間企業などによる検討委員会を作る方法もある。 ・コミュニティの弱いエリアに対しては、例えば区の担当者を配置するなど、必要な支援方策を検討していく。 ・地域の実態調査と検討委員会について、並行して行うことなど、今後具体的な実施方法について検討する。 <p><新たなテクノロジーの活用と災害用リソースの確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の今後のありかたの検討など、防災分野における新たなテクノロジーの活用について、様々な手法を整理しながら検討を進めていく。 |